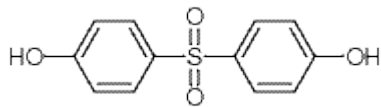


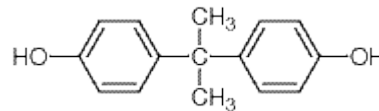
ポリカーボネート製ボトルや缶詰、飲料缶の安全性のために - ビスフェノール S の検査のご案内 -

食品衛生法・食品添加物等の規格基準において、ポリカーボネート製の器具・容器包装についてビスフェノール A (BPA) の溶出量が規制されていますが、BPA の代替物質の 1 つであるビスフェノール S (BPS) についても BPA に準じて、試験を実施しております。

現在、日本国内において BPS は規制されていませんが、BPA 同様の健康影響が懸念されていることから、BPA と共に溶出されないか確認されることをお勧めいたします。



Bisphenol S (BPS)



Bisphenol A (BPA)

BPA は主にポリカーボネートやエポキシ樹脂の原材料として使われています。
器具・容器包装では、飲料缶や缶詰の内面塗装、ドリンクボトルなどでよく使われています



ビスフェノール A (BPA) は、近年、動物の胎児や産仔に対し、極めて低い用量の投与により影が認められたことが報告されたことから、妊娠されている方（これらの方の胎児）や乳幼児がこの物質を摂取すると影響があるのではないかと懸念が持たれています。欧米諸国でも、このような報告から、ヒトの健康に影響があるかどうか評価が行われているところです。

米国では、食品用の器具・容器包装類では「BPA Free」が求められています。

BPA の使用が敬遠される中、その代替物質の 1 つとしてビスフェノール S (4,4'-Dihydroxy-diphenyl Sulfone/BPS) が使われていますが、BPS も BPA 同様の健康影響が懸念されています。

お問い合わせはこちらまで

一般財団法人 日本文化用品安全試験所 (ブンカケン)

大阪事業所 化学分析部 TEL:072(968)2228

<http://www.mgsl.or.jp/Default.aspx>

E-Mail : kagaku-osaka@mgsl.or.jp

